



東洋町議会だより

発行：高知県東洋町議会 ☎(0887)29-3398 発行人：議長 今宮裕明 編集：広報編集委員会 印刷：米崎印刷株式会社



第24回野根川さくら祭りと満開の桜並木

主な内容

平成29年第1回定例会	
平成29年度当初予算	2頁
町長行政報告	6頁
こんなことを決めました！	7頁
(議案と審議結果)	
平成28年度補正予算	9頁
一般質問	10頁
各議員の意思表示	15頁

第137号

2017年(平成29年)6月1日発行

議会だよりは、ホームページからもご覧いただけます。

東洋町議会 🔍 で検索！

「まちの魅力を発信」ふれあい高新 in 東洋町
(7/26~30にわたり、本町の魅力を新聞で紹介する)



(東洋町納涼祭)
花火&レーザー

「防災拠点」地域防災センター建設
2億5千万円



(完成イメージ図)

「命の道」津波避難路整備 1億円



木造住宅耐震事業補助金 設計 最大44万2千円 改修 最大152万5千円

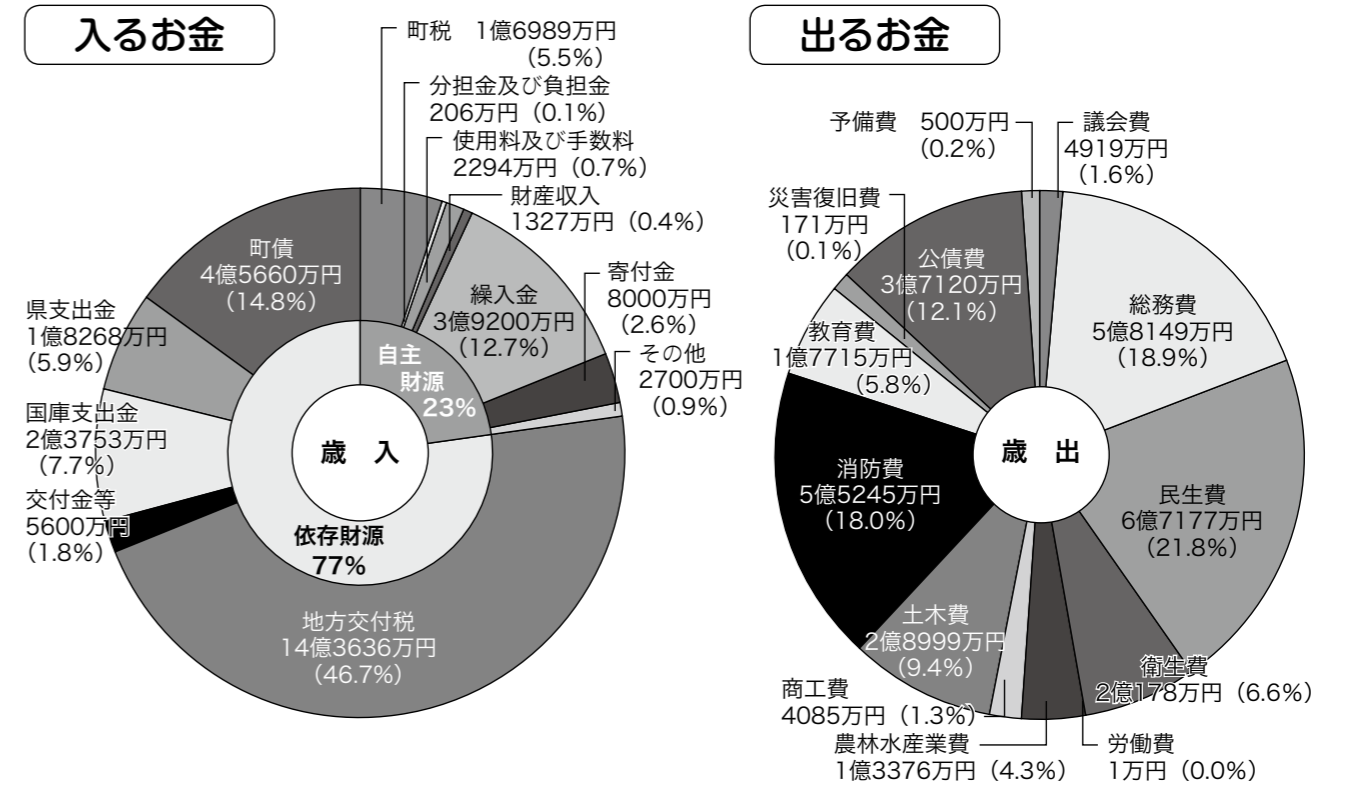


補助金内で取れば、自己負担なし!

壁に筋交いを入れる。

金具で補強する。

29年度一般会計予算 30億7630万円／可決!



歳入

歳入を性質別にみると、物件費や補助費、繰入金などの経常的経費が13億5716万円(51.1%)、人件費や公債費(借金返済)などの義務的経費が10億1132万円(27%)、普通建設事業費などの投資的経費が6億7394万円(21.9%)となっています。

歳出

一般会計当初予算は、前年度より3億2630万円増、前年度と比較して11.8%の増額予算となりました。財源の77%は国の地方交付税などに依存し、町税などの自主財源は23%となっています。

全会計予算総額49億9570万円

会計名	平成29年度	平成28年度	比較	伸率
一般会計	30億7630万円	27億5000万円	3億2630万円	11.8%
特別会計				
住宅新築資金等貸付事業	3億1190万円	3億1700万円	▲510万円	▲1.6%
国民健康保険事業	6億8650万円	7億3200万円	▲4550万円	6.3%
介護保険事業	5億6370万円	5億6900万円	▲530万円	▲0.9%
介護サービス事業	1490万円	1600万円	▲110万円	▲6.1%
下水道事業	1億2520万円	1億4000万円	1480万円	▲10.7%
簡易水道事業	1億670万円	1億1800万円	▲1130万円	▲9.9%
観光施設事業	6490万円	6200万円	290万円	5.0%
後期高齢者医療保険事業	4560万円	4400万円	160万円	3.4%
総額	49億9570万円	47億4900万円	2億4670万円	5.2%

29年度予算 集中質疑と議会人討論

※主な質疑・答弁のみ掲載

一般会計

○ たびこ税780万円の徴収方法を聞く。
 ○ たびこ1000本につき5262円を徴収することになっている。

○ 野根川清流保全協議会補助金60万円について聞く。
 ○ 桜まつりや野根川の清掃費用に充てている。



野根川桜並木の清掃

○ イルミネーションイベント委託料200万円について

○ 白浜駐車場・キャンプ場・海の駅へイルミネーションを装飾し、閑散期の観光イベントを計画している。

○ 漁業者担い手育成事業補助金について聞く。

○ マグロ漁と水産加工品等を取扱う業種に就業した漁業者へ月15万円、指導者へ月10万円、使用する船舶の経費等に月15万円を補助する。

○ 在宅介護手当について聞く。

○ 20名分を計上し、1カ月当たり4万円を支給している。

○ レスキューボード購入費36万3千円について聞く。

○ 白浜海水浴場へ2台配置する。

○ 港久保橋橋梁補修耐震補強工事3700万円について聞く。
 ○ 老朽化が進んでいるが補強することで耐震化できるとしている。



港久保橋（野根地区）

○ 地域防災センター整備工事2億5000万円について聞く。
 ○ 役場敷地内へ、津波新想定に対応した鉄筋コンクリート造り3階建てを計画している。

住宅新築資金等特別会計

○ 弁護士委託料30万円について聞く。

○ 滞納整理のため、裁判所を通じて強制執行する費用である。

国民健康保険特別会計

○ 国保保健指導事業委託料399万6千円について聞く。

○ 民間の栄養士や保健師から町民へ直接連絡し、受診勧奨等を行っている。

後期高齢者医療保険特別会計 (全員賛成)

○ 後期高齢者医療の対象者は、1月末で682名である。

介護保険特別会計

○ コーディネーター・ケアマネ嘱託員賃金216万円について聞く。

○ 国の制度で生活支援相

(反対討論：田島 毅三夫議員)

甲浦地区には、安全な避難所がない。避難場所の倉庫もまだ29箇所できていない。甲浦で避難所に指定されている小学校は、5mの浸水予測があるのにどうするのか。防災センターを庁舎横の浸水域に2億5千万円以上で設置することには反対する。

討論 議会人討論

(賛成討論：平山 照生議員)

町税の収納率向上・滞納整理への姿勢、子育て世帯や高齢者への支援、DMV導入で四国東南部の新たな地域振興策、ふれあい高新開催による本町の知名度アップ、通年型観光地の取組み、東洋町史の発行など、町政浮上を目指す意気込みを高く評価する。

(賛成討論：西岡 尚宏議員)

ふるさと納税返礼品による地域活性化、一次産業や地域への支援策に期待する。地域防災センターは、日常管理や役場庁舎機能との関連性、平日の災害対応を考慮し、現時点では役場敷地内への建設がベストである。産業振興や防災対策の取組みに期待する。

談事業として、コーディネーターを配置し、福祉全般を支援している。

介護サービス特別会計 (全員賛成)

○ ホームヘルプサービス事務収入630万円について、対前年度比減の理由は、委託先の社協スタッフと利用者の減による。

下水道特別会計 (全員賛成)

○ 水処理施設等改修工事2100万円について聞く。
 ○ 長寿命化計画で、改修が必要な浄化センター機器類の改築である。

簡易水道特別会計 (全員賛成)

○ 耐震管路整備事業3031万円について聞く。
 ○ 主に、野根地区旧国道の水道管の耐震化工事を行う。

観光施設特別会計

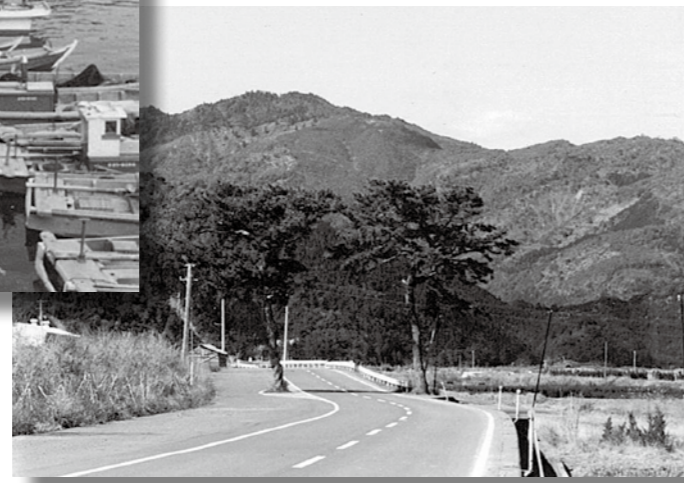
○ 海の駅臨時職員賃金1860万2千円について聞く。
 ○ 11名の臨時職員を雇用している。

(反対討論：)

田島 毅三夫議員
 今回、459万円が計上されたが、まだ、観光振興協会自体の運営や活動形態が明確でなく、年度計画も出ていない。明確な活動計画が出るまで保留を求めて反対討論する。



昭和51年当時 トントコ祭り



昭和52年当時 野根山街道 二本松

○ 町史作成委託料525万6千円について聞く。
 ○ 平成30年度に完成予定である。

第1回定例会◇3月議会◇

町長行政報告

(要旨)



6%の大きな伸びと
なっており、子育て世帯支援や高齢者臨時給付金を継続しております。

一般会計当初予算

予算総額は対前年度比11・8%増、普通建設事業は対前年度比76・4%増で、主には、地域防災センターの建設、避難路整備にも1億円を計上しております。人件費は6・7%の減、ふるさと納税の返礼品経費を計上した補助費等は11・

阿佐東線DMV導入

第2回阿佐東線DMV導入協議会で、東京オリンピックまでの運行を目指すことが決定されております。運行区間は阿波海南駅から甲浦駅間、車両製作台数は3台、2020年度運行開始を目指し、概算事業費は4年間で約10億円、徳島県側8億円、高知県側2億円が見込まれております。



線路を走るDMV



道路を走るDMV

DMV導入スケジュールと概算事業費案

項目	概算事業費	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度 (平成32年度)
車両製作	約3.6億円		車両製作	試験走行 法令手続き	
駅舎の改築 (接続施設・ホーム等)	約2.8億円	詳細設計	本工事		
信号設備等の整備 (阿佐東線・JR牟岐線)	約3.6億円	検討・設計	施設整備		
受入体制の構築 (DMVイベント)	-	DMV わくわくイベント		DMV運行直前 カウントダウンイベント	

目標「東京オリンピック・パラリンピック」までの運行を目指す

ふるさと納税

2月末日時点で寄付額は7164万円余り、昨年までの平均額は年間200万円余りで、約35倍の寄付額となっております。延べ7635名からいただいております。取扱業者の拡大と返礼品等の創意工夫を図り、体制の強化も視野に入れながら、地元特産品を活用することで、寄付額の地元還元を優先した町活性化策として取り組めます。

債権管理・整理縮小

私債権の住宅新築資金等貸付金滞納額3億円余りが毎年赤字決算として、町財政ひっ迫の主要因となってきたところです。この滞納額が解消されれば、60億円余の基金が造成されていたこととなります。訴訟提起も視野に、債権回収・整理縮減に努め、政策的経費の確保と財政健全

化を図らなければなりません。

訴訟状況

野根漁協への貸付金回収金の損害賠償事件は、本年2月14日の一審判決で棄却となっております。

次に、現職町議会議員が原告の議会議長と町が被告として提訴された損害賠償請求訴訟は、昨年12月16日の一審判決で却下であります。

本件判決は、議会議員及び議会組織の独立性、自律性について、強くその自覚を求め、かつ議員として、議会組織としての常識と自浄能力を問う、あるいは促す判決と解釈しております。また、同原告からは新たに川口地区の町有林植林事業の管理について提訴を受けており、3月21日が第1回目の公判予定となっております。

こんなことを決めました！

※議員の賛否は15ページ

条例制定

町議会基本条例
議会と議員の活動や議会運営に関する基本事項を定める。

町議会議員政治倫理条例
議員の政治倫理の確立に関する基本事項を定める。

条例改正

町税条例等の一部を改正する条例
消費税10%引上げ延期により、施行日を変更する。

(全員賛成)

規則改正

町議会広報の発行に関する条例
新たな議会広報編集要領を制定する。

町議会会議規則
本会議や委員会、町長や職員が議員に対する反問を認める。(全員賛成)

動議

町議会議員田島毅三夫君に対する懲罰動議
福島登議員他6名の賛成者の連名で提出され、懲罰特別委員会(小松熙委員長)が設置される。特別委員会での審議が必要なこと、次回の6月議会と懲罰の可否を決める。

**28年度
補正予算**

一般会計 ▲3791万円

事業費の確定などで減額

一般会計

安芸広域租税債権
管理機構負担金

△57万5千円

問 負担額決定の仕組みを聞くと。

答 人件費と事務経費を滞納移管件数で割って決めている。本町の滞納移管数は80件で、1件当たり14万4810円である。

監査委員報酬

138千円

問 年度末での追加理由を聞くと。

答 県役員への選任及び住民監査請求、財務監査の出務による増額である。

選挙(指名推薦)

選挙管理委員会

委員

生田幹明氏・坂田武行氏
竹林 愛氏・橋本恵子氏
補充員
大坂哲也氏・山崎雄也氏
岡崎洋司氏・手島裕子氏

意見書

採択

保育予算を大幅増額し、安心できる保育の実現を求める意見書(全員賛成)
子どもの安全の確保と、保育の質・量の拡充のため、保育予算の大幅増額と、安定した財源の確保を要望する。(要約)
提出者 武山裕一 議員
(提出先 内閣総理大臣 他、議長、大臣)

自治功労者表彰(15年以上)

町議会議員 小野正路氏
在職者の年数に応じて全国町村議会議長会から表彰される。

叙位

正六位 元町議会議員

檜垣好夫氏(故人)

勲五等双光旭日章を叙せられた元町議会議員の檜垣好夫氏へ正六位が叙せられた。

3月24日、高知県庁において、その伝達式が行われ、ご子息の檜垣典男氏へ内閣総理大臣からの位記を岩城孝章副知事から受取られた。叙位とは、天皇より階位が授けられるものである。



(右) 檜垣典男氏
(左) 岩城孝章副知事

老朽住宅除却事業
補助金

5,528千円

問1 年度末での追加補正の理由を聞くと。

答1 28年度の県予算に余裕があるため、29年度申請分に対応する繰越予算である。

問2 28年度の申請件数と除却件数を聞くと。

答2 16件中、除却が13件で、残り3件は対象外であった。

特別会計

下水道事業

未普及解消アクションプラン策定事業

△924千円

問1 92万4千円の減額理由は、

答1 計画作成委託に伴う入札減による。

最小の経費で最大の効果を!

監査委員チエツク!!

2月15日に、定期監査を実施しました。

(主な内容を掲載)

28年度ふるさと納税の取組み

返礼品は、どのようなものを取扱っていますか?

ポンカン、伊勢エビ、野菜の詰め合わせなどの特産品を取扱っています。ふるさとチエツクサイトのそれぞれの部門でランキング入りしたこともあります。

担当者

返礼品の取扱業者は、何社ですか?

6月までは1社でしたが、現在は8社まで増えています。

担当者

返礼品に特産品を活用することで、地域振興へと波及効果がでていきます。今後も、制度の趣旨をふまえて、過度の返礼品競争にならないよう気を付けて欲しい。

問2 この計画の概要は。
答2 未整備地区である野根・生見地区の生活排水処理方法や甲浦駅周辺の整備計画の方針を決めるものである。



28年度 補正予算

会計名	補正額	補正後の額	
一般会計	▲3791万円	30億1759万円	
特別会計	介護保険事業特別会計	97万円	5億7556万円
	下水道事業特別会計	357万円	1億5078万円

29年第1回臨時会

主に、ふるさと納税返礼品(特産品)2750万円を増額補正。(全員賛成)

阿佐東線へのDMV導入計画

導入する目的は。

生松克祐 総務課長

世界初となり、観光振興と経営改善を図る。



福島 登 議員

DMVは燃費も良く、維持費削減の期待による経営改善、鉄道とバスのシームレスな公共交通の拡充に期待が持てる。

導入時期は、東京オリンピック、パラリンピックが開催される平成32年度を目標としている。

DMV導入の目的、導入時期、運行開始時期は。

総務課長 DMVが運行している国はなく、導入すると世界初となる。DMVを最大限活かすことで、阿佐東地域を活性化させ、観光振興と同時に経営改善を図ることを目的としている。

DMVの体験乗車を、ふるさと納税の体験型返礼品として、交流人口の拡大を図ってはどうか。また、DMVで巡る阿佐東線ミニツアー体験を企画してはどうか。

総務課長 体験型返礼品は、できるものからテールに乗せたいとは思っている。

ている。ミニツアーは、協議会で提案していきたい。

DMV導入により阿佐東線の経費はどのように改善されるか。

総務課長 燃費、車検などで削減できる。国の支援がない状況であり、国への要望も協議会で検討要望したい。

DMV導入の目的の1つに、阿佐海岸鉄道株式会社の経営改善が上げられるが、経営が改善されなければ、阿佐東線維持に伴う経費や基金の町負担も軽減されない。取締役の一員である町長に、経営改善の取組みをさらに進めることを求めたい。

町長 高知県議会で知事もDMV自体が観光資源になると期待する旨の答弁をしている。今後、導入に向けた検

討が進んでいく際には、東部地域の観光振興、あるいは地域経済の活性化に資するように仕掛けていくかが大事だという趣旨の答弁をしている。

過疎債の適用も、今の段階では明確な答えはできない状況がある。そのような中で、県としても利用者の少ない地方の鉄道を維持するための新たな公共交通モデルととらえており、地域公共交通の活性化及び再生

に関する法律の中にDMVを念頭に置いた新たな効率的な運送サービス事業の推進を図るために、国が必要な資金の確保に努めるという規定を根拠に徳島県と連携して支援制度の創設、拡充を強く求めたい。

地域交通の移動手段としての役割を担っていることから、地域住民や議会への説明責任をもう少し果たしてもらいたい。がどうか。

町長 具体的なことは、今後、詰めなければならぬ点が多々ある。制度的、技術的、財政的など、国、県からの支援策の調整も必要となるが、バリアフリー化の対応ということも議論はされている。

新たな情報があれば、議会にもいち早く報告できるようにしたい。



DMV (左) と 汽車 (右)

はまぐり放流

生見をはまぐりの産地にできないか。

光本速雄 副町長



小松 熙 議員

JF甲浦や観光振興協会と協議したい。

殖する可能性が高く、数年すれば、大はまぐりを基本に、はまぐりの産地として売り出せると考えるがどうか。

副町長 当時の観光協会と町で、白浜海岸に潮干狩り用として放流をしていたと思う。潮干狩りには良かったが、繁殖には至らなかったという経過がある。

生見海岸は、質問のとおり、はまぐりを放流することによって繁殖が期待されると思われる。

千葉県の九十九里浜で、はまぐりのブランド化を進めているように、本町としても地場産業を育て

観光振興にも繋がると思うので、JF甲浦支所や町観光振興協会と協議して検討したい。

十数年前、私が観光協会の会長として放流を止めた経緯がある。

それは、放流した翌日から数日に渡りバケツ一杯にはまぐりを持って帰る人がいると聞いたのと、白浜では育った形跡が少なくと判断したためである。

その点、生見では、大はまぐりも生息し、繁殖するのではと考えている。江戸時代から有名な桑名の焼きはまぐりのように、本町でも海の駅の名物料理として出せないかと考えている。

生見ビーチは、世界的に有名になっているが、サーフィンだけでなく、はまぐりも売り出したい。

(答弁なし)

歴史資料館

なごみの格技場へ整備できないか。

奈良崎幸一 教育長

本町に、歴史資料館を整備してはどうかと考える。

新しく建設するのではなく、なごみの格技場のような空き場所を利用しよう。

本町には、こういう歴史があるということ、写真や絵を描いて町民に残すことは必要と考えている。

他町村のように観光地になるような立派なものではなく、我々の子孫に伝えていくということは、生きている者の責務と考える。

過去にホームセンターとして活用した事例があった。しかし、この事業は、町民生活に直接関係

があって、興味もひき、後世に残すべき事業として、進めている町史編纂と並行して進めてはどうか。

で協議が必要となり、現時点では厳しいと考えている。町長 今現在、防災対策を最優先課題としており、財政状況も見極めながら、町史編纂さんと並行してということであるので、写真など歴史のものは、その中で取入れるよう検討したい。ハード的なものは、時間的猶予をいただきたい。

教育長 なごみの格技場は、住民課の各種検診及び甲浦保育園の夕涼み会などに使用しており、一時的に展示会などには使用できるが、半永久的に使用するには、役場内



本町に残る民具の数々

木造住宅耐震改修補助事業

補助金のアピール不足ではないか。

生松克祐 総務課長

チラシを出していきたい。



総務課長 昭和56年5月31日以前の家屋を対象としているが、把握までには至っていない。改修工事の実績は5軒、申込みは4軒受付けている。

図 5軒ということであれば、あまり進んでいない。

広報と一緒に配布したチラシ1枚ではアピール不足、説明不足ではないか。

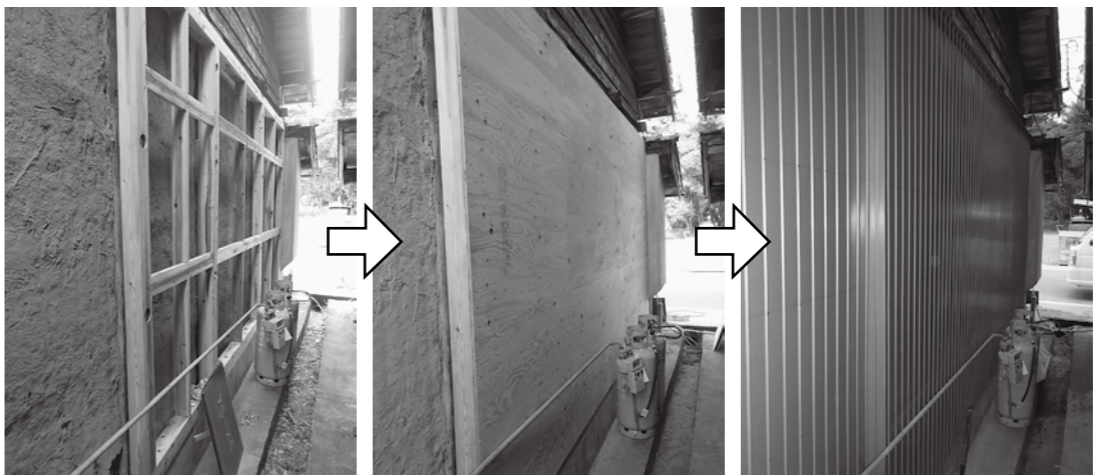
図 熊本地震では、家屋の全半壊が約3万8千件ののぼると聞いている。耐震改修補助金では、設計、改修合わせて196万7千円の補助金が出ると聞くが、本町で対象となる家屋が何軒あるのか、補助金の利用実績、申込件数を聞く。

総務課長 家の状況によっては自己負担を伴うので、書きぶりは難しいがチラシを出していきたい。

図 NPO法人環境防災

対策協会が、今年1月から町内で耐震改修をすすめに戻っているが、タイプアップして町内の大工にも仕事ができないものか。

総務課長 施工中の工事では、地元の大工と連携



改修事例 家屋の壁を補強

して一部分だが請負っていることも聞いており、できるだけ地元の大工にも仕事を請負っていただきたい。

図 町の防災士が取組む家具転倒防止等対策事業も、このNPOとタイア

防災倉庫の高台移転

遅れているのを町民へ報告するべきです。

生松克祐 総務課長

建築確認手続きが難航している。

図 町は、住民に対して、防災倉庫を高台移転すると言いつつ、早くも2、3年になるが、防災倉庫の建築確認の問題で、議員は遅れているのは分かっているが、町民の方に報告すべきだと思うがどうか。

総務課長 この件は、遅れている状況にあり、この場をお借りしてお詫びの場をお借りして申し上げたい。早急に移転手続きを実施しており、倉庫の建築確認申請一件分を設計会社に依頼し、その後は職員が申請することを考えているが、1年経過しても許可が下りていない状況で専門家でも難航している。

郷土資料の保管・展示

高台資料館の考えは。

奈良崎幸一 教育長



現状で対応したい。

に行きたい。保存計画策定は、検討しなければいけない。津波は、現状で対応したい。活動支援は、調査協定を結ぶときに費用負担は協議した。

②公共事業である。カチツとした契約書の作成を求める。また、維持管理や人件費などの町負担額を聞く。
③放置すれば畜養施設の二の舞を踏み、多額の賠償命令の恐れがある。もし、出たら誰が払うのか。

行政委員などの町長任命は利益相反 第三者委員選任の改正を求めたい。

生松克祐 総務課長

任命規定廃止は、町判断ではできない。

図 本町でも、監査委員を、監査される側の町長が任命しているが、利益相反であり、公正・公平な審査ができないのではないか。

町長が任命した公務員が、町長の意向に反して意見が言えるのか。しがらみのない第三者委員選任の改正を求めたい。

建築確認の緩和要請

建築確認免除特区申請を求める。

伊吹真貴博 産業建設課長

免除特区の申請はできない。

図 ①29箇所の避難場所に避難倉庫が設置されていないが、県と折衝したか。

②小池の避難場所は、所有者の了解を得ていないが、どう進めるのか。
③甲浦小体育館は、5mの浸水予測地である。高

冷凍施設の活用

手島憲作 産業建設課長補佐

漁協が協議会を立上げ検討している。

図 ①3400万円で設置した冷凍施設は、休止後5年半を越えたが、漁協は、どのような活用を検討しているのか。

ない。今後、利用目的や計画が決まれば、町負担分も協議し、契約する。賠償はその時でないかわからない。

※他に、「移住者受入の貸家改修事業の問題点」「ドローン講習会の開催」について質問したが、スペースの都合で掲載できなかった。

図 ①民具などの収集・管理を高知大学に任せているが、郷土資料の保存計画はあるか。
②なごみで津波対策は大丈夫か。高台資料館の考えは。
③大学への食費や宿泊の活動支援を求めたい。

教育長 連絡あれば収集

海部郡・安芸郡

町村議会合同研修会

阿南安芸自動車道（安芸市・阿南市、10キロ）の整備促進に関する要望活動などで交流の深い海部郡・安芸郡町村議会（10町村）の議長と副議長を対象に、1月18日、役場2階大ホールで、自動車道の整備状況などについて学ぶ初の合同研修会が開催されました。

研修会では、国土交通省四国地方整備局の横路和彦 道路調査官を講師として招き「四国の道路 最近の話題」と題した講演では、四国4県の8の字ネットワークなどの自動車道の整備

状況の説明や国道55号の渋滞緩和、津波浸水時の緊急輸送路としての活用など自動車整備の必要性について学び、今後の要望活動に生かすことを確認しました。



私は、賛成 反対 しました。

賛否が分かれた議案と各議員の意思表示

○：賛成 ●：反対

議案名	議員名							結果	議長 今宮 裕明										
	1番 福島 登	2番 平山 照生	3番 高島 俊彦	4番 小松 熙	5番 武山 裕一	6番 小野 正路	7番 田島毅三夫			副議長 西岡 尚宏									
1 町個人情報保護条例改正及び町情報公開条例改正	○	○	○	○	○	○	●	○	賛成7名可決	議長									
2 一般職の職員の給与に関する条例改正	○	○	○	○	○	○	○	●	○	賛成7名可決	議長								
3 28年度一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	●	○	○	○	○	○	賛成7名可決	議長								
4 28年度下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	●	○	賛成7名可決	議長								
5 29年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	賛成7名可決	議長							
6 29年度住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	賛成7名可決	議長						
7 29年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	賛成7名可決	議長					
8 29年度介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	賛成7名可決	議長				
9 29年度観光施設事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	賛成7名可決	議長			
10 町議会基本条例制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	賛成7名可決	議長		
11 町議会議員政治倫理条例制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	賛成7名可決	議長	
12 町議会広報の発行に関する条例改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	賛成7名可決	議長

議会の動き

1月

- 3日 東洋町成人式
- 5日 東洋町消防出初式
- 6日 広報編集委員会
- 19日 広報編集委員会
- 30日 議会運営委員会（2回）

2月

- 3日 安芸郡町村議会議長会臨時総会（奈半利町）
- 9日 議員全員協議会
- 17日 広報編集委員会
- 22日 議員全員協議会
- 24日 高知県町村議会議長第68回定期総会（高知市）

3月

- 27日 芸東衛生組合議会定例会（室戸市）
- 2日 安芸広域市町村圏事務組合議会定例会（安芸市）
- 3日 議会運営委員会
- 7日 総務教育民生常任委員会
- 7日 議会運営委員会（2回）
- 7日 29年第1回定例会（3月議会）
- 8日 予算審査特別委員会
- 14日 議会運営委員会
- 23日 懲罰特別委員会
- 28日 懲罰特別委員会
- 29日 安芸広域市町村圏特別養護老人ホーム組合議会定例会（奈半利町）
- 29日 ごめん・なはり線活性化協議会総会（安芸市）
- 31日 懲罰特別委員会

議会を見学しませんか？

議会の定例会は、どなたでもご覧になることができます。ぜひ、役場2階の議場へお越しください。

次回：平成29年第2回定例会（6月）



議場

※IP告知端末4chで議会生中継しています。

編集後記

広報編集委員会では、議会だよりの編集改革として編集要領を定め、今回から適用している。大きく変わったのは一般質問のページ制限で、議員各位も並々ならぬ努力を重ねた。一方、当議会では、議会基本条例を制定し、合議制の議会組織としてあるべき姿を決意、さらには、議員政治倫理条例を制定し、議員らしく活動するための

制限を設けるなど、議会の長い歴史の中でまた一つ大きな変革期を迎えた。このように何ごとも、その時代にふさわしいスタイルを築き上げるのが民主主義である。

町は、町史編さん作業を本格的に取組み始めた。本紙に昭和50年代の写真を掲載したが、その時代はどうだったのか。皆さんで思い出して欲しい。

広報編集委員会

施設訪問研修報告

総務教育民生常任委員会

総務教育民生常任委員会（福島登委員長）は、2月7日に障害者グループ「フレレンズ」の作業訓練所を訪問しました。

テーマ「障がい者の就労対策」

障害者グループフレレンズは、身体、精神、知的障害者の方々で結成する組織です。

ふれあい館なごみに月2回集まり、レクレーションや体操、昼食作り、カラオケなどの交流やイベントへの出店販売、文化祭、運動会へ参加し、障がい者が地域と繋がる活動を目指しています。

町内には、障がい者が通所でできる就労系のサービス事業所がなく、町外の事業所も遠方のため利用は難しく、就労体験できる機会がない状況にありました。そこで、27年度から毎週火曜日に、自然休養村管理センターにフレレンズ作業所として就労体験の場を開設し、就労意欲のあるメンバー6人が集まり、クッキーやマドレーヌ、米袋バッグ、雑巾などをボランティアや指導員とともに商品作りに励んでいます。



作業訓練：ポンカンの袋詰め

長年の活動の積み重ねが、障害者福祉サービスが少ない、近くにないという地域の課題を、自らが解決するべく活動が、成果として現れていると感じました。

障害者福祉について、さらに理解を示し、フレレンズの活動支援はもとより、障がい者1人1人の自立心を尊重し、社会参加への活動を支援しながら地域貢献へ繋がる施策を求めたい。

広報(議会だより)研修報告

広報編集委員会

広報編集委員会（西岡尚宏委員長）は、1月31日に大月町議会広報編集常任委員会と合同研修会を開催しました。

テーマ「議会だよりの発刊と活動内容」

第30回町議会広報全国コンクールで優秀賞を受賞した大月町広報編集常任委員会は、本町と同じく5人で組織しており、新人議員は必ず同委員会委員へ選任され、経験議員とともに議会だよりの編集に取り組んでいます。

本研修会を通して第一に感じたことは、編集委員、議員、事務局でそれぞれの役割を確立し、読む側の目線に立つことに理解を示し、議会だよりの編集に取り組む姿勢であります。中でも、各議員が編集する一般質問は、紙面掲載について詳細なルールを定め、公平性を徹底する取組みが印象的でありました。

この1年間、当広報編集委員会では、議会だよりの編集方法の調査、研究を掲

げ、本研修も含め議論を深めて参りました。議会だよりが、議会活動全般を公正で客観的にとらえ、町民に分かりやすく読みやすい内容で的確かつ簡潔にまとめ、町政に関わる重要な情報を町民に周知し、議会と町政に関心を持つような誌面となるよう努めて参ります。



大月町議会との広報合同研修